

2021年11月19日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

人吉市社会福祉協議会に社内表彰賞金1万ドルを寄付

ジブラルタ生命保険株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 添田 毅司)は、親会社であるプルデンシャル・ファイナンシャル(本社 米国ニュージャージー州ニューアーク)が創設した「坂口 陽史(さかぐち きよふみ)ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード*」の2021年度受賞者に、入江 ほづみ(いりえ ほづみ)エグゼクティブ・ライフプラン・コンサルタント(熊本支社熊本第一営業所所属)が選定されたことを受け、同賞の賞金1万 USドル(※)を、入江が寄付先として希望した社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会(松岡 隼人 市長)へ贈呈しました。

11月10日(水)、人吉市役所で贈呈式が行われ、入江は「生まれ育った人吉市が、昨年7月の豪雨によって甚大な被害を受け、少しでも何かお役に立てればと思い、寄付をいたしました」とメッセージを述べ、寄付目録を贈呈しました。

松岡市長からは、「復興はまだ道半ばです。苦しんでいる被災者にしっかり寄り添えるよう、いただいた寄付金を復興費用として大事に使っていきたい」との言葉とともに、入江に感謝状が贈られました。



■贈呈式での記念撮影



■復興状況を語る松岡市長(右)

※ 寄付金額について

1万 USドルの賞金は、振込手配時点の円・ドル為替レートで日本円に換算し、寄付しております。
日本円での寄付金額は、1,146,900 円となりました。

さかぐち きよふみ

***「坂口 陽史ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード」について**

賞名に冠されている坂口陽史(きよふみ)(故人)は、プルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門の育ての親で、プルデンシャル生命保険株式会社の創業者です。

同賞は、世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャルが掲げる生命保険に対する理念、そしてお客さまに対する一生にわたる献身的なサービスの提供といった使命を、社員に伝承していくために 2002 年に創設されました。プルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門傘下の生命保険会社で、最も良き手本となった営業社員を各社ごとに毎年1名選定し、その栄誉を称えるとともに、受賞者が希望する慈善団体等に1万ドルを受賞者名で寄付します。

今回受賞した入江は、常にお客さまに焦点を合わせた質の高いビジネスを追求している姿勢に加え、ボランティア意識も非常に高く、地域社会への積極的で多様な貢献活動が評価され、ジブラルタ生命全国の営業社員約 7,000 名の代表として選ばれました。